

やさしい水処理入門(その2)

「保全とはメンテナンスのことである」

「ウッチャリ猫を もらってくれる人いませんか。」と今回は、いきなりお願いなのである。実は6月×日、親猫が分析室下倉庫で、子猫を3匹産んでしまい、そのうち元気な1匹はどこかへ行ってしまったが、残りの2匹は親が来なくなってしまい、ウッチャリ猫になってしまったのである。仕方なく飼っていると、今度は計量棟の脇にいたずぶ濡れの猫(この日は雨)も面倒みることになってしまったのである。ちなみに「どしゃ降り」のことを

It is raining cats and dogs.

というそうである。

クロとトラ(仮名です)は整備係の倉庫生まれなので、所属は整備係で配属は技術係ということになる。キャットフード代を整備係に請求しようと思っている私が猫屋敷の〇〇である。

〇さんは、クロとトラとシロ(仮名です)を仕込んで重金中央(水処理制御室)に配置するという遠大な計画を練っているのである。すると3匹3交代ということになるのだろうか。しかし、クロとトラとシロに水処理設備の管理(保全)ができるだろうか。というわけで、

1. 保全とは

JIS Z8115に「修理可能な系、機器、部品などの信頼性を維持するために行う処置」と規定されている。ある解説書では「修理可能な物を故障なして稼働させるための処置」となっている。

この意味からすると予防保全に力が入っているような気がするのである。この予防保全という日野市クリーンセンター(日野市の清掃工場、処理能力220t/d)で、ちょっとしたカルチャーショックを受けてしまったことを思い出す。

専門教養講座の施設見学で、今年1月21日にクリーンセンター(名前からしてカッコイイ)を訪ねたときであった。

説明の係長 「当工場の運転は、1班5名で4班あり2交代制です。日勤者はここにいる5人です。」
(5人と聞いたが、いまいち不確かである。)

質問の某氏 「そんなに少なくて故障したら、どうするんですか。」

説明の係長 「(さりげなく) PMをやっています。」

見学者一同 ザワザワ、シーン

猫屋敷の〇〇 「みんな、分かってるのかなー。」 ここで食事になった。

2. 負けずにPM(予防保全)

JISでは「決まった手順により計画的に点検検査、試験、再調整などを行い、使用中での故障

を未然に防止するために行う保全」と定義している。英語で preventive maintenance 略して PMである。

という分けて、当工場でもPMをやりたいのである。というと「機器台帳も満足にないのに、そんなこと無理。」という声が聞こえてくるが、保全にも色々な方式があるのである。E工場分析資料番外編 ミスターTの科学的燃焼管理（その7）「故障と保全 そして究極の運転操作法を求めて」に書いておいたので見て欲しいのである。今回は、その内の一つの

3. 状態監視保全 (condition-monitory maintenance)

をとりあげたい。JISでは「系、機器、部品などの使用及び使用中の動作状態の確認、劣化傾向の検出、故障や欠陥の標定、故障に至る経過の記録及び追跡などの目的で、ある時点における動作値及び、その傾向を点検、試験、計測、警報などの手段または、装置によって監視すること」による予防保全となっている。「なーんだ、これは運転系の点検じゃないか。」と気づいてしまいうのだが、チェックシートの記入にとどまらず保全(完全な状態を保つ)の意識を持った点検が必要なのである。今回は、工場全体のことを書いてしまったのが、水処理も工場の一部なのである。

ところで、猫もらってくれる人いませんか。

次回の予定 夏休ってから考えます。

以 上